

# 令和6年度 松川北小学校 グランドデザイン



子どもたちに願う姿 **自ら学ぶ子ども**



評価指標

対話を中心とした教育活動を大切に、主体性や思考力・判断力・表現力を高めます。

タブレットを活用し、考えを伝え合ったり、自らの学びを振り返ったりします。

一人1 チャレンジや自主学習を充実させ、自分の学習を振り返りながら、主体的な学びを進めます。



「学び合い・認め合い」を合言葉に、子どもたち自身が成長を感じられる授業づくりを行います。

職員も子どもも互いに、「よ〜くみて、よ〜くきいて」を大切に、安心できる学級を創ります。

協働の学び

保小・小小・小中の連携を図り、一貫性のある教育を進めます。



地域学習の日や授業を通して地域を学び、地域で学び、地域とのつながりを大切にします。

全体を引っ張るリーダーと状況を理解して役割や持ち味を生かすフォロワーの関係性で、互いの信頼を創ります。

連学年授業や異学年交流を通して、互いに高め合います。

縦割り遊び・縦割り清掃を通して、幅広い仲間と触れ合います。

**重点1 学びづくり**  
学びたくなる学習問題を据え、友との対話を通して粘り強く学ぶことで、自分たちの学びに自信をもつことができる授業づくりを目指します。

**重点2 関係づくり**  
縦割り活動や連学年・異学年での取り組みや交流などを体験することで、幅広い豊かな人間関係の構築を目指します。また、地域との連携を大切にします。

令和6年度教育課題

協働の学びの質を高める

【学校評価アンケートにおいて】  
①どの先生も相談にのったり関わったりしてくる  
②本校職員は学級の枠にとらわれずに児童を理解しようとしている  
③友だちと考えを伝え合ったり、一緒に考えたりしながら学習している

児童の割合	80%	90%	90%
保護者の割合	%以上	%以上	%以上
	(R5 77%)	(R5 95%)	(R5 98%)

学校目標

学び合い 認め合い ひとりひとりがたくましく みんなが伸びる 松川北小学校  
(協働の学び) (多様性の尊重) (個の確立) (集団としての成長)

教育理念

みて きいて 全職員の連携指導による個を尊重する学校づくり

松川町教育委員会の重点

㊟つかわ大好きな子・世界や地域と㊟ながる子  
一人ひとりが㊟がやく子・㊟たしを大切にできる子

- (1)松川町を愛する子どもを育む
- (2)人とつながる多様な学びの実現
- (3)子どもを主人公に
- (4)主体的な学びの実現

北小コミュニティスクール

PTA 安全・安心支援隊

読み聞かせ支援隊 環境支援隊

ふるさと学習支援隊 学習支援隊

地域資源

Hug 清流苑周辺施設

など